

赤 一色が語る浮世絵の歴史

会期 2022年3月4日(金)～3月27日(日)

※作品は記載のあるもの以外太田記念美術館所蔵です。

※展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

	絵師名	作品名	年代
1F	石川豊信	二代目瀬川吉次の石橋	寛延3年(1750)9月
	鈴木春信	浮世美人寄花 南の方 松坂屋内野風	明和5～6年(1768～69)頃
	勝川春潮	四代目岩井半四郎の七変化	天明7年(1787)
	東洲斎写楽	二代目中村野塩の小野小町	寛政6年(1794)11月
	溪斎英泉	東都名所尽 司馬増上寺之図	天保後期(1836～44)頃
	歌川国貞(三代豊国)	源氏見立八景之内 花宴晩鐘 かつらき	安政5年(1858)8月
	歌川広重	牡丹に孔雀	天保3年(1832)頃
	歌川広重	名所江戸百景 蒲田の梅園	安政4年(1857)2月
	歌川国貞(三代豊国)	今様三十二相 気むつかし相	安政6年(1859)2月
	月岡芳年	美立七曜星 満月	〈個人蔵〉 明治11年(1878)12月
	豊原国周	見立屋夜廿四時之内 午前四時	明治23年(1890)10月
	小林清親	彫画共進会之内 小野小町	明治18年(1885)
	鳥居清倍	おもちゃの万燈を持つ女	正徳(1711～16)頃
	奥村政信	馬上の曾我五郎	享保2～4年(1717～19)頃
	二代鳥居清倍	二代目市川団十郎の矢の根五郎	享保14年(1729)1月
	二代鳥居清倍	初代荻野伊三郎のかり金ぶん七 初代坂東彦三郎のあんの平右衛門 初代大谷広次のほてい 市右衛門 二代目市川団十郎のかみなり庄九郎 初代沢村宗十郎のこくい千右衛門	享保15年(1730)
	奥村利信	お七と吉三	享保(1716～36)頃
	二代鳥居清信	藤川平九郎のせかい此兵衛 初代中村助五郎のほっけ長兵衛	宝暦元年(1751)11月
	奥村政信	足袋の紐	寛延～宝暦(1748～64)頃
	二代鳥居清信	市村亀蔵の曾我五郎時致	宝暦8年(1758)3月
2F	勝川春章	三代目大谷広次の川津の三郎祐安 二代目中村助五郎のまたのゝ五郎かげ久	明和7年(1770)11月
	鳥居清長	牛若丸と浄瑠璃姫	天明8年(1787)頃
	歌川豊国	三代目瀬川菊之丞の塩くみ	寛政後期(1795～1801)頃
	喜多川歌麿	蚊帳の男女	寛政12年(1800)頃
	菊川英山	七小町 かよひ	文化8～11年(1811～14)頃
	勝川春扇	二川 よしだへーり 五拾五枚続之内	文化(1804～30)頃
	歌川国貞	吉原時計 子ノ刻 ひけ九つ	文政4～6年(1821～23)頃
	溪斎英泉	逢妓八契 金龍山晩鐘	文政後期(1824～30)頃
	溪斎英泉	今様美人拾二景 てごわそう 深川八幡之新富士	文政5～6年(1822～23)頃
	歌川広重	名所江戸百景 増上寺塔赤羽根	安政4年(1857)1月
	歌川広重	名所江戸百景 深川八まん山ひらき	安政4年(1857)8月
	歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 石部 おはん	嘉永5年(1852)3月
	歌川国貞(三代豊国)	源氏見立八景之内 紅葉賀ノ夕照 光氏	安政5年(1858)8月
	歌川国貞(三代豊国)	春の遊初音聞ノ図	安政5年(1858)12月
	歌川国貞(三代豊国)	豊国漫画図絵 赤間法印今弁慶	〈個人蔵〉 万延元年(1860)12月
	歌川芳虎	春駒	
	豊原国周	天人吉三 尾上菊五郎	明治3年(1870)10月
	二代歌川国輝	東京府下煉化石従商家京橋観之図	明治7年(1874)頃
	月岡芳年	美立七曜星 化粧の金	〈個人蔵〉 明治11年(1878)12月
	豊原国周	異種薔薇犯妻会 高橋お伝 菊五郎	明治12年(1879)7月
	楊洲周延	東京華族学校 学習院宴会図	明治12年(1879)11月
	楊洲周延	開花貴婦人競	明治20年(1887)9月
	豊原国周	見立屋夜廿四時之内 午後三時	明治23年(1890)11月
	東洲斎写楽	二代目市川門之助	寛政6年(1794)10月
	歌川豊国	五代目松本幸四郎の曾我五郎時宗 初代市川男女蔵の小林の朝比奈	享和4年(1801)1月
	歌川国貞	吉例の暫 市川団十郎	文政(1818～30)
	葛飾北斎	新板浮絵日本橋肴市繁昌之図	文化7年(1810)頃
	歌川国虎	浮絵飛鳥山花盛群集之図	文化・文政(1804～30)
	歌川広重	近江八景 瀬田夕照	安政4年(1857)3月
	歌川国芳	四代目大谷友右衛門の安達元右衛門 三代目嵐璃寛の早瀬伊織	〈個人蔵〉 安政元年(1854)6月
	月岡芳年	魁題百撰相 冷泉判官隆豊	〈個人蔵〉 慶応4年(1868)7月
	豊原国周	因幡小僧雨夜嘶	明治20年(1887)11月
	歌川芳艶	瓢軍談五十四場 四十九 久長久次和氣の城を責る	元治元年(1864)9月
	月岡芳年	大日本名将鑑 小野好古朝臣	明治13年(1880)2月
	小林清親	明治十四年一月廿六日火出 両国大火浅草橋	明治14年(1881)
	鳥居清長	初代中村仲蔵の白拍子桂木 四代目松本幸四郎の名月坊 三代目大谷広次の十六夜坊	天明3年(1783)8月
	鳥居清長	初代中村仲蔵の白拍子桂木 四代目松本幸四郎の名月坊 三代目大谷広次の十六夜坊	天明3年(1783)8月
	勝川春潮	飛鳥山花見	天明3年(1781～89)頃
	勝川春潮	飛鳥山花見	天明3年(1781～89)頃
	窪俊満	六玉川	天明5～9年(1785～89)頃
	溪斎英泉	契情道中双録 岡部 見立よしはら五十三つゐ 尾張屋内ゑにし	文政8年(1825)頃
	溪斎英泉	契情道中双録 岡部 見立よしはら五十三つゐ 尾張屋内江仁志	文政8年(1825)頃
	歌川広重	名所江戸百景 浅草金龍山	安政3年(1856)7月
	歌川広重	名所江戸百景 浅草金龍山	安政3年(1856)7月